

東北農業試験研究協議会 東北農業研究第76号 論文賞

【受賞事業】

リンゴのトールスピンドル樹形における省力的な側枝発出促進方法

【受賞者】

りんご研究所 小林 達

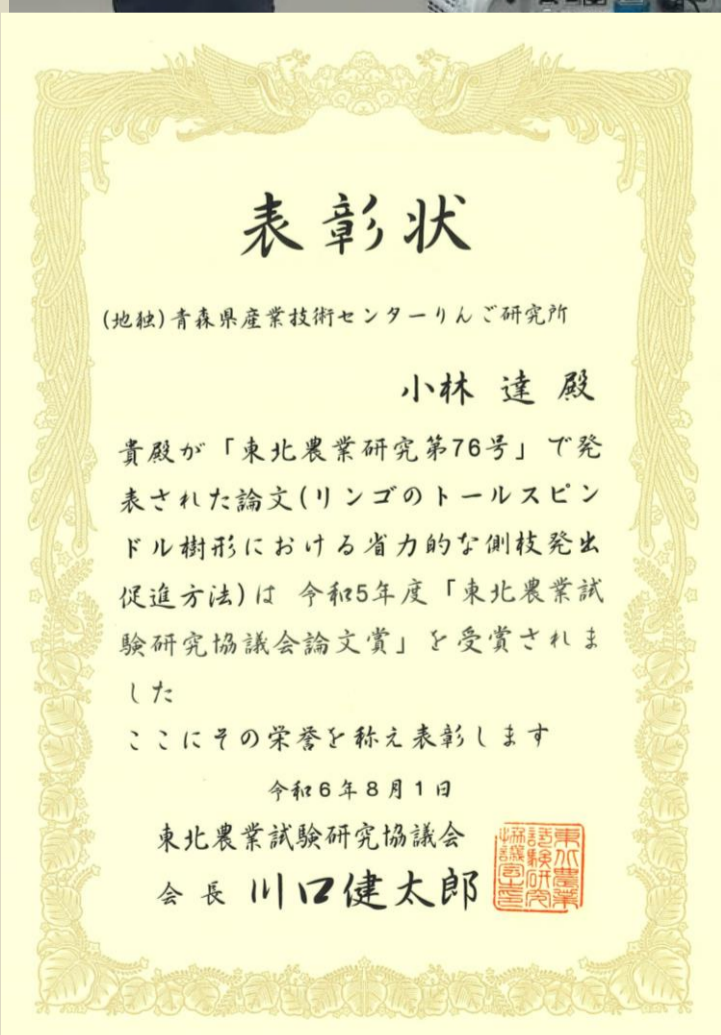
【受賞理由】

近年、注目されているリンゴのトールスピンドル樹形（高密植栽培）で問題となっている主幹部の「はげ上がり※」を、「目傷鋏」で「展葉1週間後」（不発芽を見分けられる時期）に処理することにより、効果的かつ省力的に側枝を確保できることを明らかにした。

※側枝が発出しない部位が生じること



小林主任研究員
(右)



授賞式【令和6年8月1日】

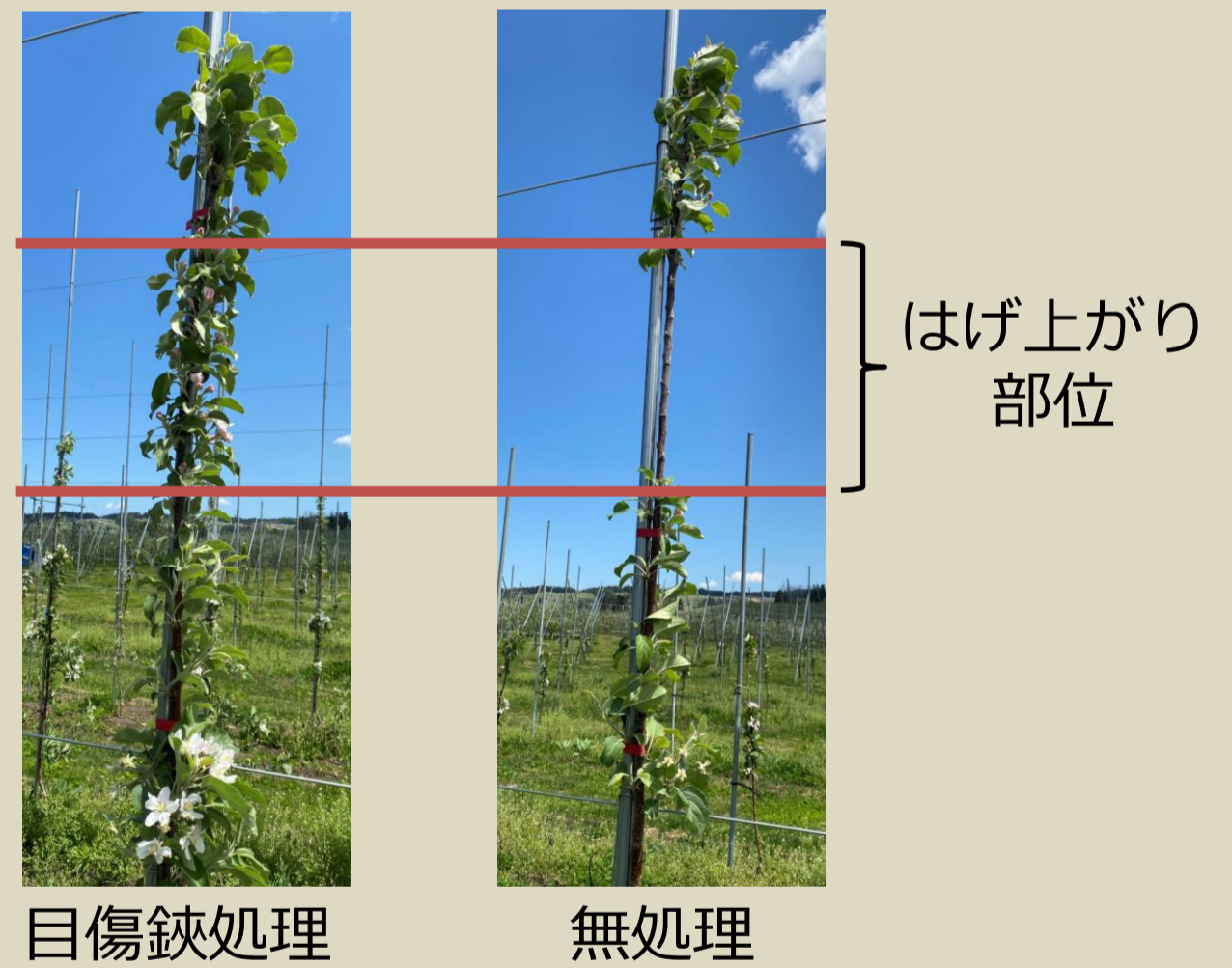


図. 目傷鋏の側枝発出促進効果

表. 目傷鋏による処理時期別の作業時間

| 処理時期 | 処理芽数 (個/樹) | 100芽当たり 作業時間 |
|--------|---------------|-----------------|
| 展葉1週間後 | 3.5 | 1.6 min(31) |
| 休眠期 | 13.7 | 5.2 min(100) |